

< その他、取組に特徴のある事例 >

ホタルの飛びかう環境の保全を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	富山県 <small>おやへしせんごく</small> 小矢部市千石			
協定面積 5.7ha	田(100%) 水稻	畑	草地	採草放牧地
交付金額 113万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	集落の各担当者の活動費		2%
		生産活動等の体制整備に対する経費		5%
		水路の維持・管理等共同取組活動への経費		36%
		農用地の維持・管理活動への経費		7%
協定参加者	農業者 5人			

2. 取組に至る経緯

当集落は、農業従事者の高齢化が進み労働力が年々減少するとともに、農地の荒廃や農業の継続が心配された。そのため、関係する農業従事者の連携を強め、農地法面・水路の維持や補修を行うとともに、農作業における農業機械の共同利用を推進し、農地保全体制の確立を目指した。また、生活排水の入らない水源による水稻栽培を堅守し、自然生態系保全への取組と併せ、将来の担い手となる地域の子ども達へ農業や環境への理解を伝える機会を展開するため、集落協定を締結した。

3. 取組の内容

当集落は平成14年に集落協定を結び、水路・周辺草地林地の草刈りや清掃、ファームポンドのヘドロや土砂除去作業に取り組む。また、生産コストの削減を図るため、水稻苗代ハウスの共同購入と共同作業、空倉庫の活用を実施した。「生活排水の入らない田、蛍の飛びかう環境の保全」を目標に蛍の池を造成し、地元の小学生等へ取り組みを理解してもらい環境保全の大切さを知ってもらう。また、自然の恵みから得た米により集落関係者とともに餅つきを実施し、児童生徒へ環境保全の大切さを継承している。



みんなで餅つき



蛍の池づくり

〔集落の将来像〕

- ・集落を基礎とした営農組織の構築
- ・核となる集積対象者の育成の推進
- ・農業機械等の共有化の推進
- ・体制整備への協議推進及び活力ある周辺集落との連携

〔将来像を実現するための活動目標〕

耕作放棄防止、水路・農道等の管理、多面的機能増進活動、共同機械・施設利用

〔活動内容〕



4. 取組による変化と今後の課題等

自然生態系の保全を目標にした蛸の池づくりや餅つきの実施により、協定参加者や地域住民の意識の高まりを感じたが、今後も継続した保全活動への取組が望まれる。

また、農業者の高齢化が進んでいるため、若手の労働力確保とともに隣接する集落との連携を推進することが必要になると見込まれる。

[平成20年度までの主な成果]

機械農作業共同化の推進 共同防除(当初0ha、目標0.6ha、H20実績1ha)

箱苗づくり(当初0ha、目標4ha、H20実績4ha)

自然生態系の保全に関する学校教育等との連携 地元の小学生等を対象とした蛸の池を造成

水路・作業道の管理 水路(目標2.5km、H20実績2.5km) 作業道(目標1km、H20実績1km)